

予算問題

問 予算編成の方針と重点施策は

答 1円たりとも税金を無駄にしない



松沢貞一議員

【平成23年度予算編成

について】

方針と重点施策は。

村長

方針は、第4次総合計画、地域懇談会等の要望に基づく実施計画を最重要課題とし、徹底した行政改革を行い限りある財源を最大限に活用します。重点施策は、

快適で安らぎのある生活環境と、支え合い健康に暮らす地域福祉社会を目指し、優れた資源と人材を生かし活力ある村を築きます。

問

財政の健全化と地域懇談会の要望事項など、地域活性化のための積極的な



有害鳥獣被害対策事業

事業推進とのバランスをどうとるのか。

村長

公債費負担は順調に減少していますが、依然として財政状況は厳しく積極的な投資は難しいです。要望

問

事項は地域間の偏りや緊急性の有無などを考慮し実施していきます。

地域づくり事業を拡大し積極的に支援すべき

村長

予算の総枠は増やせないが、全地区を対象に配慮し支援していきます。

【里山森林整備

事業について】

問

村内の進捗状況は。

村長

平成20年度森林づくり県民税導入により積極的に実施され、森林整備面積は、21年度大北管内で2300ha実施、うち白馬村は183haでした。22年度は、管内で1900ha、うち村は190ha実施予定です。

問

事業の継続について。

村長

県の事業を行った場合、村は標準経費の1割を嵩上げする補助制度を実施し、今後も継続していきます。

【有害鳥獣被害

対策について】

問

被害の実態は。

村長

イノシシ等大型野生動物による農作物被害が増加、拡大しています。水稲では5件65a、被害額38万6

千円。熊による建物侵入もありました。

被害対策は。

村長

イノシシ対策を強化し、くくり罠用発信機導入

により11頭を捕獲しました。神城地区では2kmの電気柵を設置し、村の電気柵購入補助制度を7件30万円補助しました。

有害鳥獣出没対策として緩衝帯整備を北城地区で森林3ha実施しました。今後も県の補助事業を導入しながら、推進します。

問

猟友会に対する支援は。

村長

村は猟友会に有害鳥獣の捕獲駆除を委託しています。今年度は出勤日数換算で440日、昨年度の1・8倍となりました。委託料は時間、人数により積算し、今年度は総額240万円を見込んでいます。猟友会員の高齢化や会員数の減少が懸念されるため、23年度から免許取得や免許更新費用の助成を実施していきます。